

令和6年度地区懇談会（富岸地区） 議事録（概要）

令和6年11月11日（月） 18:00～19:30

コミュニティセンター富久寿園 出席者21名

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

（1）富岸小学校の近くに「児童館」をつくってほしい

概要説明：富岸町内会

- ・ 長年要望している事項になるが、富岸青少年会館が廃止され、児童数が多い地区であるため、富岸小学校の付近に児童館を建設してほしい。

回答：保健福祉部

- ・ 現在、富岸放課後児童クラブと富浜児童館を統合した新しい子育て支援施設の整備に向け検討を進めている。現時点では、詳細な整備時期や場所などを申し上げることはできないが、共働き世代の増加、放課後の児童に関する保護者のニーズの変化、児童の安全面などを考慮すると、児童館や放課後児童クラブの設置場所は、小学校敷地内や隣接地等が望ましいものと考えている。富岸地区についても、そのような考えのもとで検討をしている。具体的な時期や場所の予定が決まり次第、お知らせする。

質問：富浜町内会

- ・ 先日、衆議院選挙の投票が行われ、富浜児童館の立会人を承ったが、富浜児童館が廃止された後、投票所はどこになるのか。

回答：市民生活部

- ・ 富浜児童館の廃止が決まった段階で選挙の投票所をどこにするかを検討することになるかと思う。基本的には、公共施設を利用することになるかと思われるため、近隣のコミュニティセンター栄楽園などの施設が候補になるかと思うが、その地域の有権者の利益や負担を考慮しながら検討して参りたい。

質問：富岸町内会

- ・ 児童館（富岸青少年会館）を利用していたのは児童だけではない。高齢化が進む中、この児童館を高齢者がスポーツやダンスの場として楽しんで利用していた。児童館が廃止され、市総合体育館や若草つどいセンターなどの施設を勧められたが、遠くに住む方たちは足がないため、運動ができなくなった。運動は健康維持に繋がり、地域の方と顔を合わせることでコミュニケーションの場となっていたが、無くなってしまった。
- ・ 児童館の話になると、子どもの話がメインに聞こえるが、高齢化が進み、近場の児童館だから利用できた高齢者の方が多くいた。高齢者のことも考えて欲しい。

回答：教育部

- ・ 富岸青少年会館をたくさんの方に利用していただいたことは承知している。青少年会館は床が抜ける可能性があるとのことで廃止した経緯がある。先ほどお話しがあったとおり、代替措置として近隣の公共施設の利用をお願いしている状況であり、代替施設が遠いとお話しであるが、元々の建物が老朽化により危険性があるため廃止したということをご理解いただきたい。
- ・ 市内の青少年会館については、老朽化が著しい状態となっているため、公共施設の在り方を全体として考えていかなければならない。

回答：保健福祉部

- ・ 児童クラブ・児童館の複合施設について、それ以外にも使用することはできないかというお話しであったかと思うが、青少年会館のような大規模な施設にはならないが、児童館や児童クラブとして使用していない時間帯や曜日に、町内会からの申出等があれば開放することなど、今後整備を進める中で検討していきたい。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

(2) 国道36号線からJR室蘭本線を跨ぐ立体交差橋の早期建設を要望する

概要説明：富岸町内会

- ・ 本件についても長年の要望事項としているが、いつ来るか分からない津波に備え、速やかに避難するため、線路を横断する跨線橋の建設を要望したい。

回答：都市整備部

- ・ 鉄道横断立体交差橋の建設については、地域を支える交通環境の形成や本市の道路ネットワークの構築の観点から必要なものと捉えており、平成25年度より、室蘭建設管理部登別出張所管内社会資本整備推進会議や室蘭地方総合開発期成会等を通じ北海道に対して、整備要望を行っている。北海道からは、立体交差橋の建設にあたっては、周辺環境の変化や交通量の増加といったことが大きな要因となることから、これらの推移などを勘案しながら市や関係機関と協議し、市のまちづくり計画と連携しながら、事業化に向けて課題整理等に取り組んで参りたいと回答をいただいている。本市も、該当地区の交通状況等を注視し、都市計画マスタープランや室蘭都市圏都市交通マスタープラン等に基づく検討を進めながら北海道へ要望して参りたい。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

(3) 大津波時のJR室蘭本線を横断し避難する方法について

概要説明：富岸町内会

- ・ 海側に住んでいる市民は、JRの線路を横断して避難をしなければならないため、避難方法や避難場所を明確にしていきたい。いつ起きるか分からない自然災害で、厳冬期に津波が発生した場合、12万人が亡くなるとまで報道がされているため、早急に避

難計画の方針を決めてほしい。

回答：総務部

- ・ 線路横断の避難については、現在ＪＲ北海道と協議を進めているところである。市としては、10箇所横断箇所を要望しており、今年９月上旬にＪＲ北海道と現地確認が終了した。現地確認の際に、横断の際に避難路の確保のために周辺の草刈り等整地が必要であること、日常時の線路内進入防止策としてフェンスや扉等の設置が必要であること、線路脇に排水路がある場合は簡易的な人道橋を設置する必要であることなどを両方で確認した。
- ・ 富岸地区の横断希望箇所については、新生団地付近、スーパーセンタートライアル付近、家具のアダチ付近としている。実現にあたっては、フェンスや扉の設置、側溝の対策工事等が必要となるほか、工事を実施する上で土地所有者との協議が必要であり、課題がある。今後もＪＲ北海道とそれぞれ線路横断希望箇所の具体的な工事内容や対策について協議を進め、協議が整ったところから速やかに着手して参りたいと考えている。

質問：富浜町内会

- ・ 市長から宿題をいただいていた、日野自動車と西富岸踏切付近の住民については、2対1の割合で、割合が2の方が日野自動車の裏から避難したいと伺っている。日野自動車の裏側を希望している人は、西富岸の方は人が多く混雑するであろうと考えており、線路を横断し、新生町の山側へ向かって避難することになるであろうが、避難場所はどこになるのか不安を抱えている。西富岸踏切を横断して避難する人は、登別イオンの屋上へ避難することを希望している。高齢者が多く、亀田公園までは遠くて行けないという方が多い。消防新庁舎が完成したら、そこまでは行けないが良い避難場所になるのではないかと、という意見もあった。
- ・ 2月1日の避難訓練について、富浜町内会の住民は緑陽中学校まで行くことはできないだろう。冬季の実施であり、路面状況を鑑みると諦めの声が聞こえてくる。

質問：市長

- ・ 消防新庁舎の方へ避難することは難しいと聞いたが、若山町の踏切を渡ったお寺の近くまで避難することは可能か。

回答：富岸町内会

- ・ 大和町内会であれば可能であろう。

質問：市長

- ・ 先日、富岸地区で避難訓練を実施されたかと思うが、線路から海側の皆さんも参加されたのか。

回答：大和町内会

- ・ 大和町内会については、歩いて避難することは難しく、亀田公園まで車で行き、訓練に参加した。当町内会も高齢者が多く、歩いての避難は難しいと考える。

意見：市長

- ・ 2つお願いしたいことがある。1つ目は、実際に避難経路を歩いて39分間でどこまで避難できるのか知りたい。どこまで行けるのか実証実験を行ってほしい。2つ目は、富岸地区と新生地区の皆さんと話し合う場で、39分以降、新生町のどこまで避難できるのか山側と海側の町内会で話し合いをしたい。

意見：市連合町内会

- ・ 先般10月30日に幌別鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、において山側と海側の意見交換を行った。意見交換では、避難した人を町内会がどこまで共助できるのか協議した。

意見：市長

- ・ 以前、新生町望洋町内会の会長へ海側の人々が避難して来た際は、受入をお願いしたいと話をしたときに、海側の人は何人くらいくるのかとおっしゃっていた。山側と海側の意見交換をする際は、海側から何人くらい避難をするのかという話になるかと思うので把握をしておいてほしい。山側の人にとっては人数の把握が必要である。

意見：大和町内会

- ・ 町内会の人数の把握は可能と考えるが、町内会の周辺には事業所などがあり、そこまでは町内会として把握は難しい。

回答：市長

- ・ 企業については、市で把握し、町内会へお伝えしたいと考えている。

質問：汐平町内会

- ・ 現在の国との連絡手段はどのようなになっているのか。

回答：市長

- ・ 線路横断については、内閣府にご教授いただいていた。総裁選終了後、新しい政府が決まり次第、要望等を行って参りたいと思っている。